

第49回 浜薬研究交流セミナー

下記によりセミナーを開催しますので、多数御来聴下さい。

記

日時： 2021年7月31日（土）13:30～15:00

場所： 横浜薬科大学 研究棟 2階 F21 多目的講義室
（オンラインを中継）

演者： 渡辺 賢治 先生

（横浜薬科大学 特別招聘教授）

演題： 新型コロナに対する漢方の役割

要旨： 2019年12月に中国武漢市に端をはした新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は瞬く間に世界に広がった。ワクチン接種により、感染の終息が期待されるが、こうした新興感染症は今後も繰り返されると考えられている。その理由として挙げられているのが、1) 環境破壊により、触れることがなかった野生動物と人間が接触すること、2) ひとたび人間に感染するウイルスに変異した場合、グローバル化により、瞬く間に世界中に拡がること、の2つである。

漢方のバイブルである『傷寒論』は、急性熱性感染症の経過に応じた治療法が詳述された書である。漢方には感染症との長い闘いの歴史が刻み込まれている。新型コロナ感染症を例に、今後も起こり得るであろうパンデミックに対する漢方の役割について述べる。

連絡先：病態生理学研究室 篠塚 達雄（内線 7009）